

報道関係者各位

高田製薬株式会社

< 医療用医薬品内服固形剤専用工場 / 一般製剤および高活性製剤 >

幸手工場（埼玉県幸手市）の竣工のお知らせ

高田製薬株式会社（本社／東京都台東区、代表取締役社長／高田浩樹、以下／高田製薬）は、埼玉県幸手市に建設を進めておりました幸手工場（新・固形剤専用工場）が、平成 26 年 5 月 20 日に竣工することと成りましたのでお知らせいたします。

幸手工場は、一般製剤および高活性製剤の製造エリアを、完全分離させた生産施設です。工場内の倉庫エリアはスタックークレーンで、製造エリアは 3 次元フロービンシステムで、人と物の動線分離を行うと共に、最新の大型設備機器・自動化設備機器の導入で、大幅な生産量拡大と生産効率化を可能にしています。さらに、製造管理システム（MES：Manufacturing Execution System）の採用により、信頼される品質保証を確保いたします。

今後、高田製薬は、固形剤・注射剤・外用剤の 3 つの剤形別専用工場を、埼玉県内に集約・配置させることによりまして、コミュニケーション向上とアクセス性を活かした事業展開を図りながら、高品質な製品を安定的に供給することを目指してまいります。

【概要】

名 称：幸手工場

所 在 地：埼玉県幸手市上吉羽 2100-25（幸手工業団地内）

生産内容：医療用医薬品・内服固形剤の製造

規 模：地上 5 階建て、敷地面積 12,800 m²、延床面積 約 17,750 m²

竣 工：平成 26 年 5 月 20 日

稼 働：平成 26 年 9 月（予定）

生産能力：顆粒 600t／年、錠剤 20 億錠／年、高活性製剤 2 億錠／年

投 資 額：約 100 億円

特 徴：○グローバルな品質レベルでの生産（PIC/S GMP 対応）

○生産能力拡大、生産効率化を実現する固形剤専用工場

○高活性製剤エリアは、一般製剤エリアと完全分離

○自動化された大ロット製造ラインの設置

○顆粒剤の大型生産設備の設置

○将来の需要に応じた拡充スペースの確保

以上



お問合せ先
高田製薬株式会社
広報担当 大坂谷
TEL 048 - 622 - 2602
FAX 048 - 623 - 3065

【会社概要】

社 名 : 高田製薬株式会社
創 業 : 明治 28 年 2 月
設 立 : 昭和 3 年 11 月
代 表 者 : 代表取締役会長 高田茂樹、代表取締役社長 高田浩樹
本社所在地 : 東京都台東区鳥越二丁目 13 番 10 号
資 本 金 : 10 億 8,884 万円
従 業 員 数 : 692 名 (平成 25 年 9 月期)
売 上 高 : 209 億円 (平成 25 年 9 月期)
事 業 内 容 : 医療用医薬品の製造・販売及び健康食品の製造

【主な製造工場】

●大宮工場

所 在 地 : 埼玉県さいたま市西区宮前町 203-1
竣 工 : 昭和 52 年 7 月
敷地面積 : 9,136 m²
特 徴 : 固形剤・注射剤等の生産、研究開発拠点

●大宮第二工場 (外用剤専用工場)

所 在 地 : 埼玉県さいたま市西区宮前町 639-1
竣 工 : 平成 14 年 2 月
敷地面積 : 5,097 m²
特 徴 : 軟膏剤、クリーム剤、ローション剤等の生産

●北埼玉工場 (注射剤専用工場)

所 在 地 : 埼玉県加須市鴻荃 3207-5
竣 工 : 平成 19 年 3 月
敷地面積 : 14,856 m²
特 徴 : アンブル液注射剤、バイアル・アンブル凍結乾燥注射剤等の生産

『2014 年 4 月、高田製薬のブランドマークが新しくなりました。』

ブランドマークの名称は、
“サクラ・グローバル”です。
日本の企業として、世界中の
人びとの健康を願って、高品
質で高付加価値な医薬品の
開発にチャレンジしてまい
ります。



「サクラマーク」の継承 サクラピンク

高田製薬はこれまでも、“人の心”を大切にすることを象徴とした「さくらマーク」を社章としてきました。そこには、桜のように“多くの人びとに愛され、信頼される製品”でありたいという願いをこめて、5つの会社信条を、桜の5枚の花弁で表現し、良き文化と伝統を継承してまいります。

「グローバル企業」として グローバルブルー

グローバル化が進む時代の流れの中、高田製薬は世界中の人びとに高品質な製品を届けたいと考えています。その意思と責任の象徴として“地球”をデザインしました。

「製薬企業」として タカタブルー

私たちの製品を通じて、人びとの健康に貢献したいと願う高田製薬。その使命を全うするため、常に「誠実」に高い倫理観を持って行動していくことを約束し、この「タカタブルー」を表現しています。

「日の出」=チャレンジ精神

現状に満足せず、新たな分野、より高度な技術へチャレンジしていく。研究開発型企業として独創的で高付加価値な製品の開発を目指す。高田製薬としての確固たる信念を打ち出しました。

※花弁の中は高田製薬の信頼と責任の証である3つのA (安心品質・安定供給・安全信頼) を表現しています。